

尿路結石

患者様情報

来院されるまでの症状

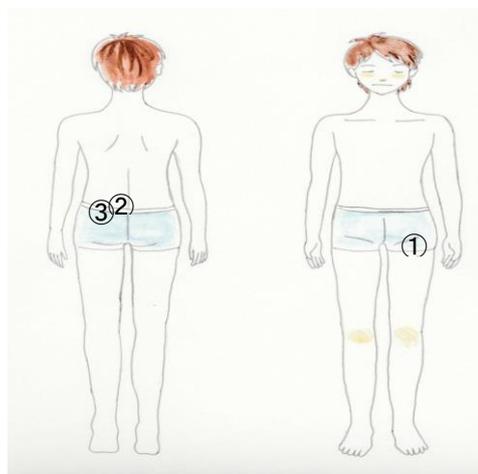
- 2018年から通院されている患者様になります。
きっかけは不眠症の奥様の付き添いで来たところ、鍼灸に興味を持っていただき、そこから定期的に通院していただいています。
- 2022年の9月、左腰のぎっくり腰で来院され、2日続けて治療したところ改善した様子でした。
その5日後、左の鼠径部が痛くなり病院でCT検査をしたところ腎臓に2mmの腎結石があるとの診断を受けたそうです。

患者様	50代 男性
初診	2018年 5月
既往症	貧血、腎嚢胞、後鼻漏
他の症状	腰痛、首こり、肩こり、ストレス(心労)、足のむくみ

四診と経過

■ 診療（診断と施術）

- 腎臓結石が動いた影響で、尿路結石となり、左の鼠径部から腰にかけて激しい痛みがあるとのことでした。
- 切経してみると、両下肢のむくみがあり、左鼠径部から腰にかけては筋緊張がありました。
- 腎臓の機能が低下し、身体の水分をため込んでいることが原因であると診立てました。
- 尿路結石を排出するために、「ムノ部」に鍼を施しました。「腎兪」、「志室」に深めに鍼の手技を施しました。



■ 初診後の経過

- 治療後は、左の鼠径部から腰の筋緊張は落ち着いて足のむくみも引いていました。
- 治療後にお水を多めにとっていただき、その日の夜には尿路結石が排出され、そこからは症状は出ていないとお話いただきました。

使用した主要なツボ

- ①ムノ部（ムノブ） ②腎兪（ジンユ）
③志室（シシツ）

■ ひとこと添えさせていただきます

- 尿路結石は食生活の偏り、尿路の狭窄など様々なことが引き金になり起こる疾患と言われています。
- 場所により名称が変わり、腎臓にある結石は腎結石、尿路にある結石は尿路結石となります。
- 男女比は女性のほうが比率が高く、決して珍しい疾患ではありません。
- 腎結石が移動したり、尿路を塞ぐと、激痛や冷や汗、血尿が出るのが特徴です。
- 予防としては、「水分をしっかり摂る」、「糖分、塩分を控える」、「運動する」などが効果的で、鍼灸治療も実績をあげています。痛みが出る前にご相談ください。